7. 重点整備地区に準ずる地区の取扱いについて

7. 重点整備地区に準ずる地区の取扱いについて

7.1 整備を推進する上での基本的な取り組み方針について

第４章ならびに第５章で整理したように本構想においては、重点整備地区として整備又は整備に着手する地区以外についても引続き市域全体に交通バリアフリーの輪を広げていくこととする。

選定されなかった地区の取扱いは、「重点整備地区」に準じて整備を進めるという意味から「整備推進地区」及び「整備検討地区」として位置づける。

重点整備地区の選定にあたっては下記のように段階的な整備の展開できる地区設定を行う。なお、ソフト施策については全市域にわたりバリアフリー化を推進することを前提とする。

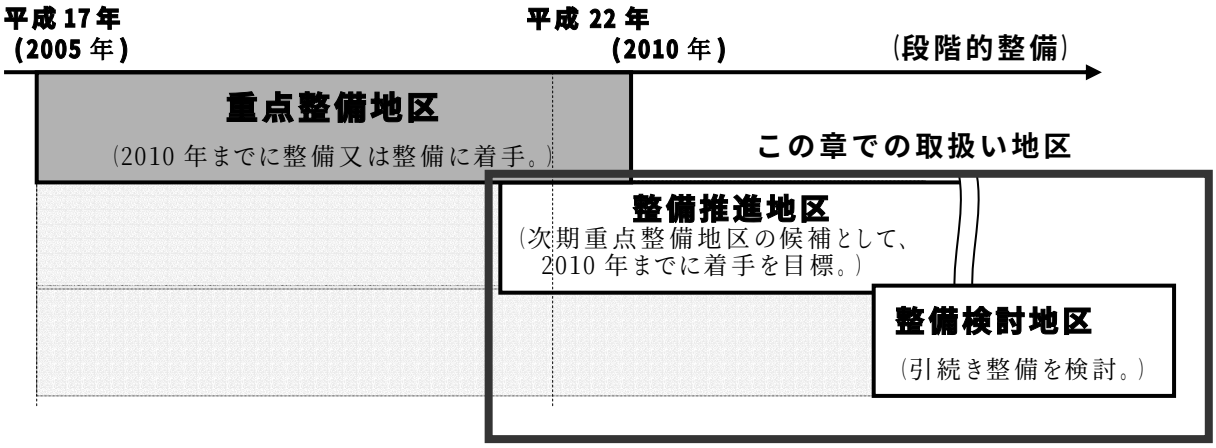
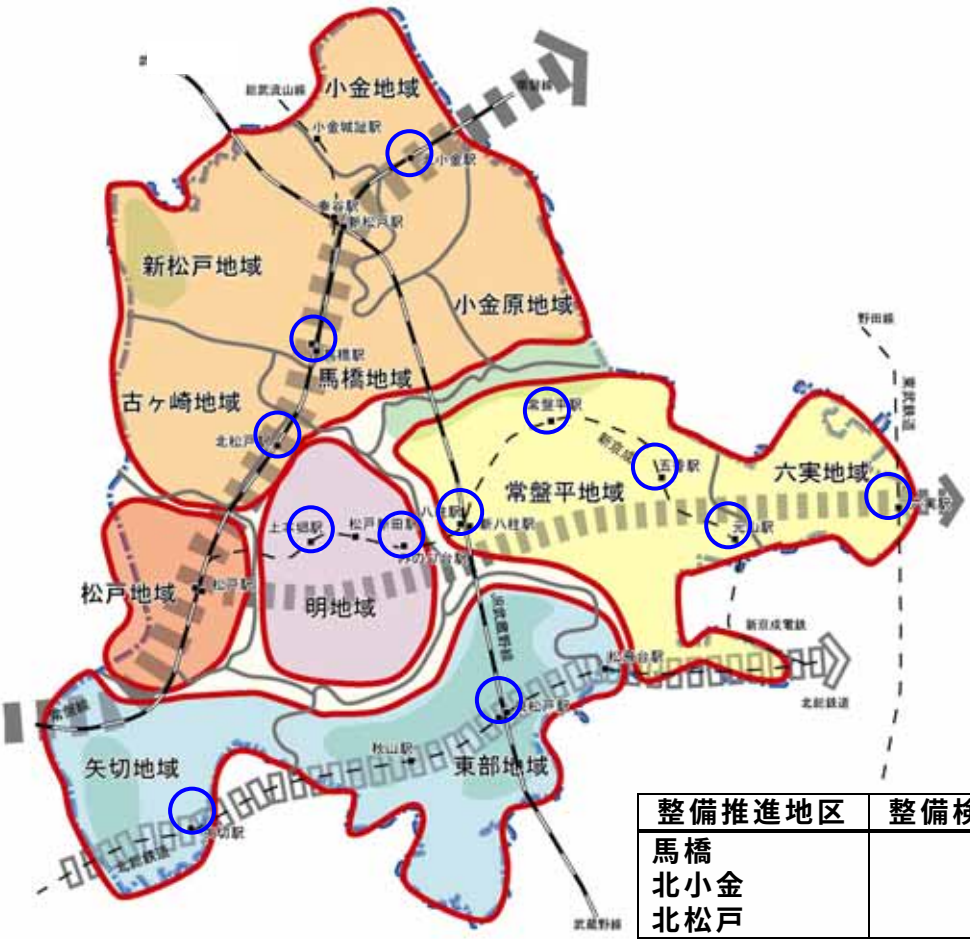


図 7.1　段階的整備のイメージ

また、本構想の特徴として市域をゾーンとして評価していることから、この考え方を踏まえ、以下のゾーンごとに現況及び課題の整理を行い、整備推進の考え方を示すものとする。



○この章での取扱い地区

整備推進地区	整備検討地区
馬橋 北小金 北松戸	
新八柱・八柱 五香 常盤平	六実 元山
	上本郷 みのり台 松戸新田
東松戸	矢切

なお、「整備推進地区」については、「重点整備地区」の次に優先して改善すべき地区としているが、事業着手までに５年以上の期間を要することが予測されることから、着手直前にその時点の現状に合わせて地区別評価等を調整し、再選定を行うこととする。

さらに、「整備推進地区」「整備検討地区」であっても、他事業（市街地整備事業、緊急地方道路整備事業等）の進捗等があった場合は、エレベーターの設置等、個別にバリアフリー化に対応して推進を図れるものとする。

7.2 地区別の現況及び整備状況について

7.2.1 馬橋･北小金･北松戸地区周辺の現況及び整備状況について

(1) 地区の現況

1） 地区の概要

常磐線の駅を中心に公共交通網（鉄道からバスへの乗換え等）が展開している３つの地区であり、どの駅も乗降客数が比較的多い駅である。

松戸市都市計画マスタープランにおいては、どの地区も計画的整備による市街地の再生が図られるべきゾーンに位置づけられている。

2） 駅の利用状況

各駅の利用実態は、次の通りである。

地区名	含まれる鉄道駅	乗降客数（人／日）	高齢者利用者数（人／日）	バス運行路線数
馬橋	ＪＲ馬橋駅、総武流山電鉄馬橋駅	60,398	7,731	６路線
北小金	ＪＲ北小金駅	53,354	6,989	６路線
北松戸	ＪＲ北松戸駅	43,862	6,141	３路線

3） 馬橋地区周辺について

① 鉄道駅の整備状況

駅名	改札内整備状況
ＪＲ馬橋駅 （ホーム数１）	改札まで昇降施設エスカレーター（車椅子対応）２基 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（入口段差あり） 誘導用ブロックあり 点字券売機４台 自由通路連続
総武流山電鉄馬橋駅 （ホーム数１）	改札まで段差あり 階段手摺り１段タイプあり トイレあり 誘導用ブロックなし 点字券売機２台 自由通路連続

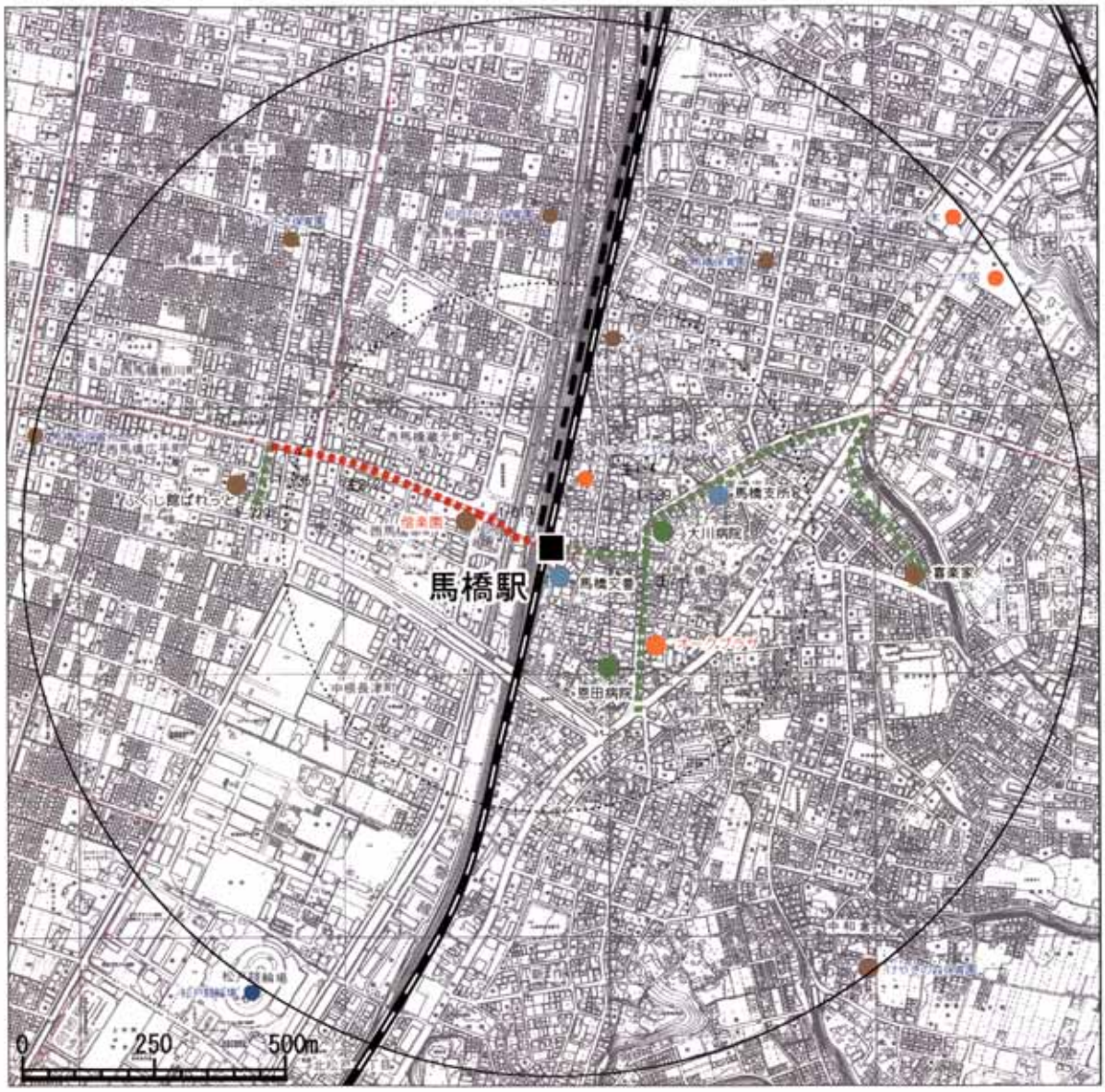
② 鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：馬橋地区（駅舎内）	
 	改札～自由通路段差解消（ＪＲ馬橋駅） ・改札前は自由通路との間に段差はなく、拡幅改札口もある。 ・自由通路から東口へ出るには階段のみであり、エレベーターによる段差解消が必要である。
 	改札～自由通路までの段差解消（総武流山電鉄馬橋駅） ・ホーム内に改札があり、改札から自由通路までは階段のみである。エレベーターによる段差解消が必要である。また、改札は拡幅改札にはなっていない。 ・東口への自由通路は平坦であるが、屋根等はない。また、手摺もない。

ラチ内外の移動円滑化の現況：馬橋地区	
 	ラチ外経路の段差解消 ・西口は階段のみであり、エレベーターによる段差解消が必要である。 ・東口は階段のみであり、エレベーターによる段差解消が必要である。
 	ラチ外経路の車椅子対応 ・西口は駅前広場に面しているが、車止め等が多々あり、車いすでの通行が難しい。 ・東口は駅前広場に面しているが、タクシー乗り場前付近の歩道の幅員はやや狭く、車いすのすれ違いが難しい。

③　特定経路（候補）の整備状況

経　　路　　名	主　に　改　良　す　べ　き　ポ　イ　ン　ト
馬橋駅西口～福祉館パレット	・自由通路からラチ外への接続でエスカレーター等による段差解消の必要あり
馬橋駅東口～喜楽家	・駅前の歩道が狭小で車椅子どうしのすれ違い困難な状況である。
馬橋駅東口～県道～国道６号	・特定経路（候補）総延長に対する有効幅員に満たない道路延長の割合が約３７％である。 ・歩道の巻込みの解消も約４３％必要である。 ・案内板は不十分でわかりにくい ・誘導用ブロックも不十分である ・音響システムは一部あるが未だ不十分である。



④　馬橋地区の整備状況を踏まえた取り組み

馬橋地区は、自由通路を使用してＪＲ馬橋駅と総武流山電鉄馬橋駅の乗換えが行われており、総武流山電鉄側の乗換えには階段のみしか設置していないことから、他事業との調整を図りながら整備推進を検討していく。

また、自由通路から西口、東口に降りる箇所についても階段のみしか設置されていないことから重点整備地区に選定にこだわらず、改札内のバリアフリー化に併せて整備推進を検討する。

なお、駅及び駅から高齢者や身体障害者等の利用する主な施設までの経路のバリアフリー化については、引続き整備推進地区として検討を行う。

経路名	主な検討方針
馬橋駅西口～福祉館パレット	・経路上の交差点における誘導用ブロックの設置 ・道路排水施設の改修と併せた歩道幅員の確保　・・等
馬橋駅東口～喜楽家	・駅前の歩道が無い場所が一部にあり、安全対策が必要である。 ・経路上の交差点における誘導用ブロックの設置 ・国道６号に架かる歩道橋は階段のみであり段差解消等が必要である。　・・等
馬橋駅東口～県道～国道６号	

4)　北小金地区周辺について

①　鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
ＪＲ北小金駅 （ホーム数１）	改札まで昇降施設エスカレーター（車椅子対応）２基 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（入口段差あり） 誘導用ブロックあり 点字券売機２台 自由通路連続

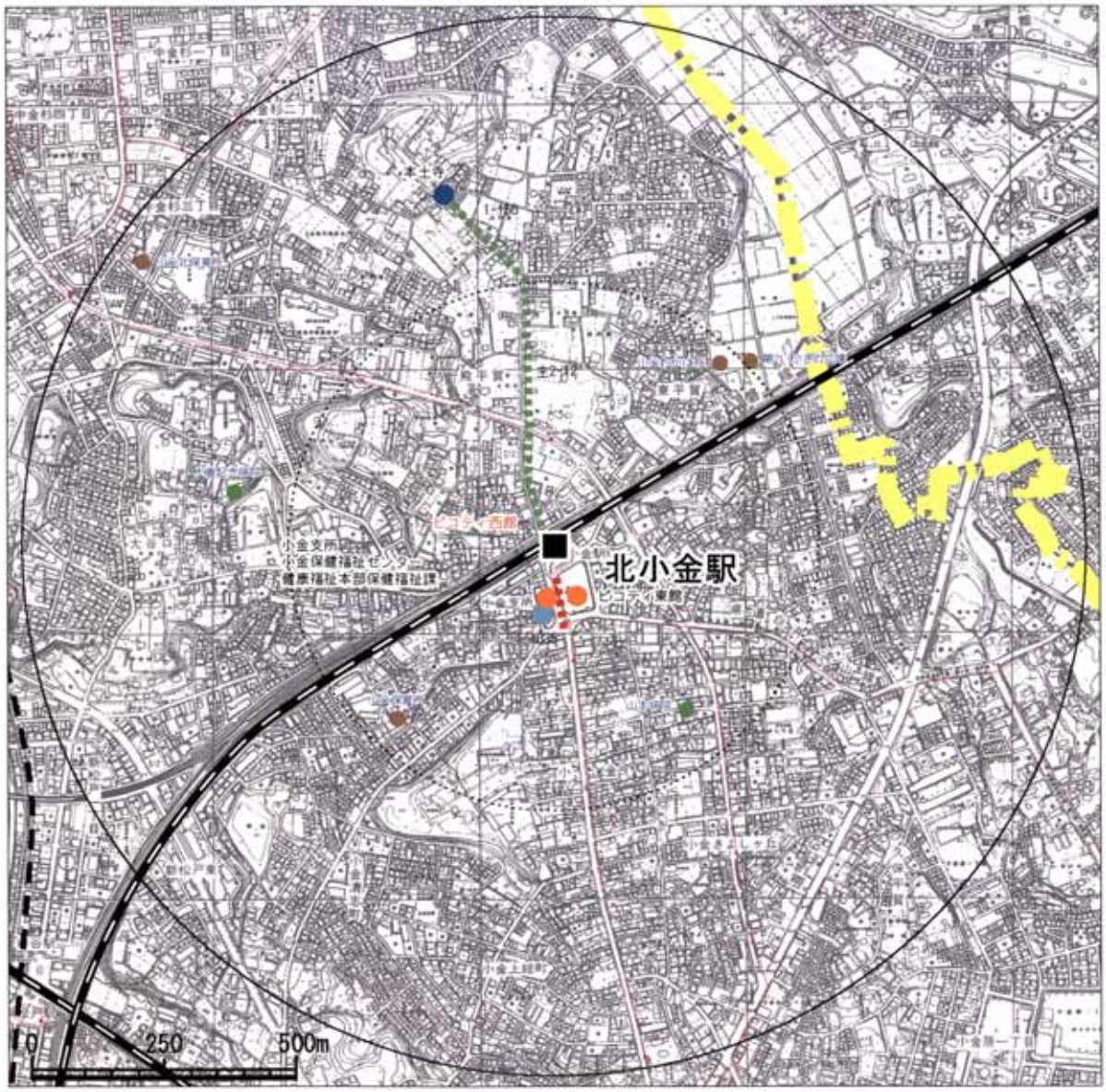
②　鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：北小金地区（駅舎内）	
 	改札～自由通路段差解消 ・ＪＲ北小金駅改札前は自由通路との間に段差はなく、拡幅改札口もある。 ・自由通路内は特に段差はない。但し、手摺りについては未整備な箇所がある。
 	自由通路～北口までの段差解消 ・北口は駅前広場もなく、道路の歩道部分に階段が直接接続しており、段差の解消が必要である。 ・歩道の幅員も狭い。

ラチ内外の移動円滑化の現況：北小金地区	
	ラチ外経路の段差解消 ・北口は階段のみが整備されている。比較的高低差が小さいことからスロープによる段差解消が必要である。
	・南口はペデストリアンデッキが整備されている。デッキに隣接する商業施設のエレベーターが２４時間利用可能である。ただし、エレベーターへ至るまでのスロープは大変長い。
	ラチ外経路の車椅子対応 ・北口は平坦であるが歩道がなく放置自転車等もあるため、車いすでの通行が難しい。
	・自由通路は平坦であるが、屋根等はない。 ・南口は広幅員の歩道に接している。

③ 特定経路(候補)の整備状況

経　路　名	主に改良すべきポイント
北小金駅北口～本土寺	• 準特定経路（候補）である。 • 自由通路からラチ外への接続でスロープ等による段差解消の必要あり • 駅前の歩道が狭小で車椅子どうしのすれ違い困難な状況である。
北小金駅南口～ピコティ	• 歩道の巻き込みが一部不十分である。 • 案内板は不十分でわかりにくい。 • 音響システムは一部あるが未だ不十分である。



④ 北小金地区の整備状況を踏まえた取り組み

北小金地区は、自由通路を使用しているが北側には階段のみしか設置していないことから、他事業との調整を図りながら整備推進を検討していく。

なお、駅及び駅から高齢者や身体障害者等の利用する主な施設までの経路のバリアフリー化については、引続き整備推進地区として検討を行う。

経路名	主な検討方針
北小金駅北口～本土寺	• 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置 • 道路排水施設の改修と併せた歩道幅員の確保 ・・等
北小金駅南口～ピコティ	• 駅前の歩道が無い場所が一部にあり、安全対策が必要である。 • 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置 ・・等

5)　北松戸地区周辺について

①　鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
ＪＲ北松戸駅 （ホーム数１）	改札まで昇降施設エスカレーター（車椅子対応）２基 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（入口段差あり） 誘導用ブロックあり 点字券売機２台 自由通路連続

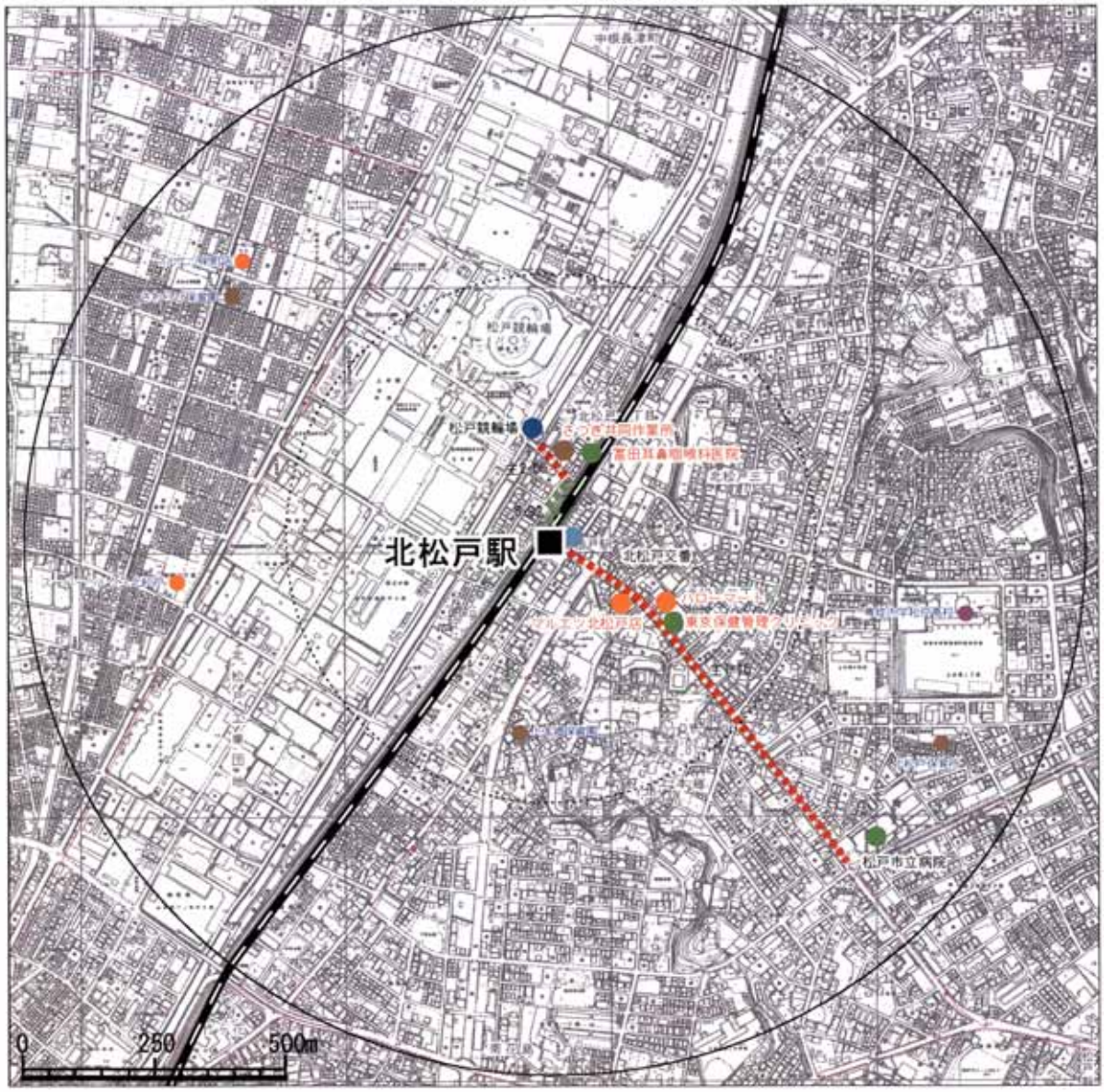
②　鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：北松戸地区（駅舎内）	
 	改札～自由通路段差解消 ・ＪＲ北松戸駅改札前は自由通路との間に段差はなく、拡幅改札口もある。 ・自由通路から東口へ下りるには階段のみであり、エレベーターによる段差解消が必要である。
	自由通路～西口までの段差解消 ・西口方面の自由通路は、平坦であるが、途中から屋根が無くなる。また、手すりもない。

ラチ内外の移動円滑化の現況：北松戸地区	
 	ラチ外経路の段差解消 ・東口は階段のみであり、エレベーターによる段差解消が必要である。 ・西口も階段のみであり、エレベーターによる段差解消が必要である。また、屋根が無いため雨天時は滑りやすく危険である。
 	ラチ外経路の車椅子対応 ・東口は駅前広場に面しているが、自動販売機等があり、車いすの通行の妨げになっている。 ・西口は、駅前広場が無く幅広の通路に面している。バスや、タクシー等への乗換える場所は無い。

③ 特定経路(候補)の整備状況

経　路　名	主に改良すべきポイント
北松戸駅西口～松戸競輪場	• 自由通路からラチ外への接続でエスカレーター等による段差解消の必要あり
北松戸駅東口～市立松戸病院	• 特定経路（候補）総延長に対する有効幅員に満たない道路延長の割合が約１６％である。 • 案内板は不十分でわかりにくい。 • 誘導用ブロックも不十分である。 • 音響システムは一部あるが未だ不十分である。



④ 北松戸地区の整備状況を踏まえた取り組み

北松戸地区は、自由通路を使用して東西のラチ外特定経路を結んでいることから、他事業との調整を図りながら整備推進を検討していく。

また、自由通路から西口、東口に降りる箇所についても階段のみしか設置されていないことから重点整備地区に選定にこだわらず、改札内のバリアフリー化に併せて整備推進を検討する。

なお、駅及び駅から高齢者や身体障害者等の利用する主な施設までの経路のバリアフリー化については、引続き整備推進地区として検討を行う。

経路名	主な検討方針
北松戸駅西口～松戸競輪場	• 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置 • 道路排水施設の改修と併せた歩道幅員の確保 ・・等
北松戸駅東口～市立松戸病院	• 駅前に歩道が無い場所が一部にあり、安全対策が必要である。 • 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置 • 国道６号に架かる歩道橋は階段のみであり段差解消等が必要である。 ・・等

7.2.2　新八柱・八柱・五香・常盤平地区周辺の現況及び整備状況について

(1)　地区の現況

1)　地区の概要

新京成電鉄、ＪＲ武蔵野線の駅を中心に公共交通網（鉄道からバスへの乗換え等）が展開している３つの地区であり、どの駅も乗降客数が比較的多い駅である。

松戸市都計画マスタープランにおいては、既成市街地として成熟し、居住者の高齢化が進んでいるコミュニティーが存続しているゾーンと位置づけられている。

2)　駅の利用状況

各駅の利用実態は、次の通りである。

地区名	含まれる鉄道駅	乗降客数（人／日）	高齢者利用者数（人／日）	バス運行路線数
新八柱・八柱	ＪＲ新八柱、新京成電鉄八柱駅	81,648	13,390	５路線
五香	新京成電鉄五香駅	32,391	5,053	５路線
常盤平	新京成電鉄常盤平駅	18,607	3,163	４路線

3)　新八柱・八柱地区周辺について

①　鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
ＪＲ新八柱駅 （ホーム数２）	改札までの昇降施設は階段のみ 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（入口段差あり） 誘導用ブロックあり 点字券売機２台
新京成電鉄八柱駅 （ホーム数１）	改札まで昇降施設エスカレーターあり（段差なし） 階段手摺り２段タイプあり トイレあり（多機能トイレあり） 誘導用ブロックあり 点字券売機２台 自由通路連続

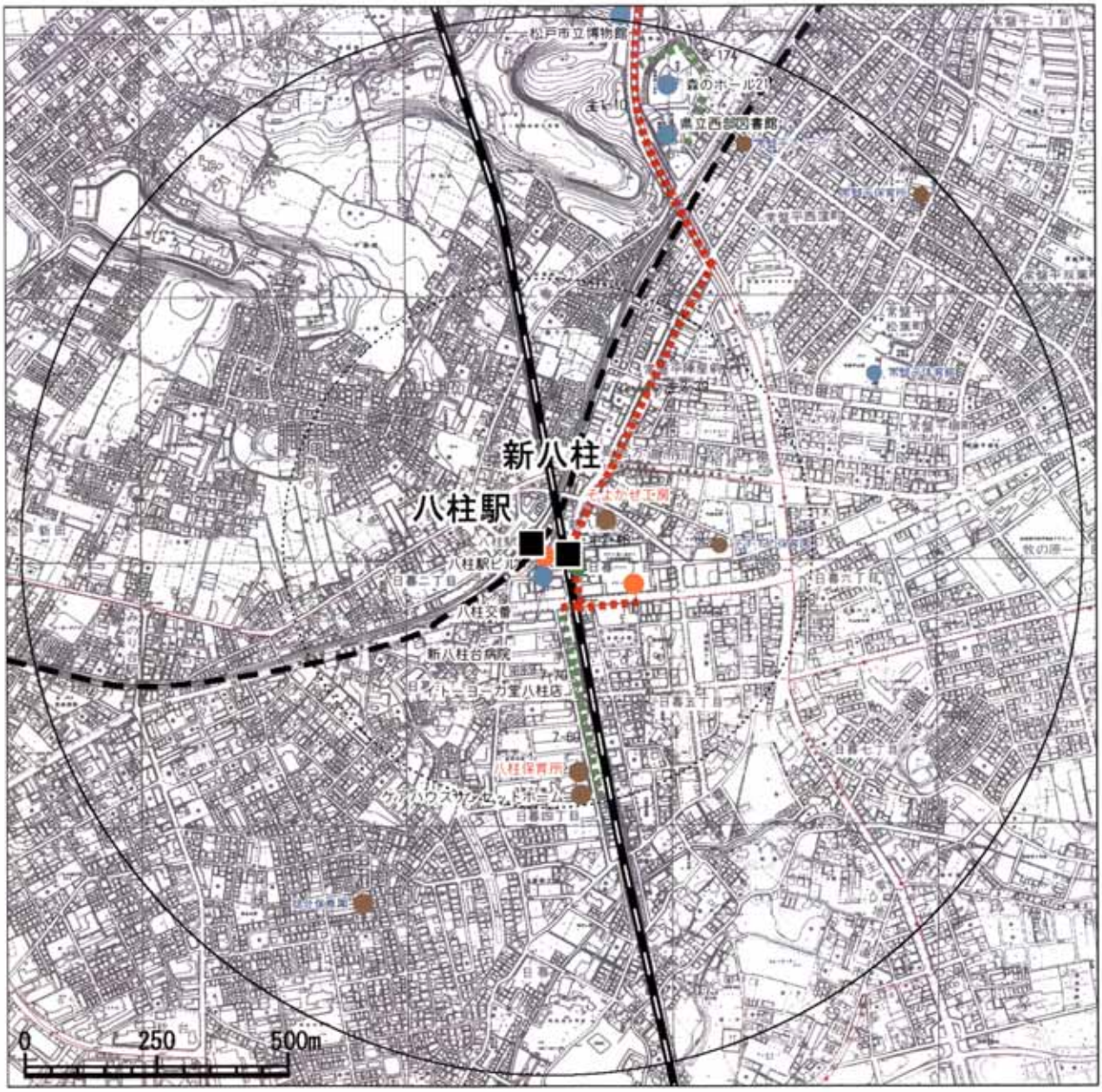
② 鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：新八柱・八柱地区（駅舎内）	
 	改札～出口段差解消（ＪＲ新八柱駅） ・改札前は階段があり、エレベーター、エスカレーター等による段差解消が必要である。 ・改札は拡幅改札になっている。
 	改札～自由通路までの段差解消（新京成電鉄八柱駅） ・エスカレーターが整備されている。 ・改札は拡幅改札になっている。

ラチ内外の移動円滑化の現況：新八柱・八柱地区	
	ラチ外経路の段差解消 ・ＪＲ新八柱駅口は階段のみであり、スロープ等による段差解消が必要である。
	・新京成電鉄八柱駅はエスカレーターが整備されているが、昇り方向のみである。
	・駅ビル内の２台のエレベーターは２４時間利用可能である。
	ラチ外経路の車椅子対応 ・新八柱、八柱駅ともバスロータリーに面しており、車椅子のすれ違いが可能となっている。

③　特定経路（候補）の整備状況

経　路　名	主に改良すべきポイント
八柱駅～２１世紀の森と広場	・特定経路ならびに準特定経路（候補）総延長に対する有効幅員に満たない道路延長の割合が約３５％である。 ・誘導用ブロックも不十分である ・音響システムは一部あるが未だ不十分である。
八柱駅～イトーヨーカ堂	
八柱駅～ケアハウスサンセットホーム	



④　新八柱・八柱地区の整備状況を踏まえた取り組み

新八柱・八柱地区は、駅前広場の通路を経由してＪＲ新八柱駅と新京成電鉄八柱駅の乗換えが行われている。ＪＲ新八柱駅側の乗換えには階段のみしか設置していないことから、他事業との調整を図りながら整備推進を検討していく。

なお、駅及び駅から高齢者や身体障害者等の利用する主な施設までの経路のバリアフリー化については、引続き整備推進地区として検討を行う。

<table>
<tr><th>経　路　名</th><th>主　な　検　討　方　針</th></tr>
<tr><td>八柱駅～２１世紀の森と広場</td><td rowspan="2">・ 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置
・ 道路排水施設の改修と併せた歩道幅員の確保　・・等</td></tr>
<tr><td>八柱駅～イトーヨーカ堂</td></tr>
<tr><td>八柱駅～ケアハウスサンセットホーム</td><td>・ 歩道が無い場所が一部にあり、安全対策が必要である。　・・等</td></tr>
</table>

4)　五香地区周辺について

①　鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
新京成電鉄五香駅 （ホーム数１）	改札まで昇降施設エスカレーターあり（段差なし） 東口 エレベーターあり 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（多機能トイレあり） 誘導用ブロックあり 点字券売機２台 自由通路連続

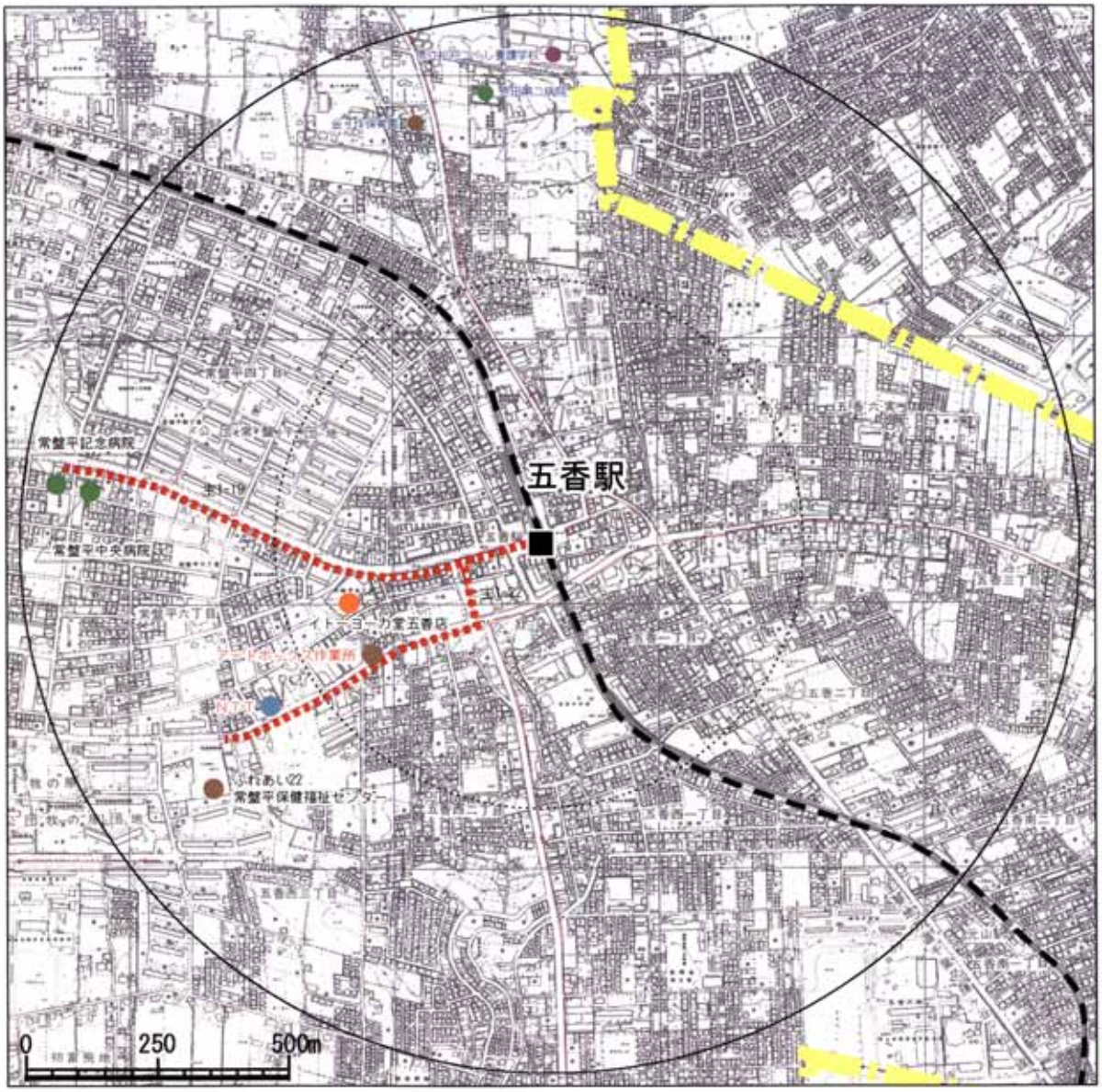
②　鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：五香地区（駅舎内）	
 	改札～自由通路段差解消 ・五香駅改札前は自由通路との間に段差はない。 ・拡幅改札口もある。
	自由通路～東・西口までの段差解消 ・自由通路は、平坦である。

ラチ内外の移動円滑化の現況：五香地区	
	・西口はエスカレーターが整備されており、段差が解消されている。 ・駅ビル内のエレベーターを使用可能であるが、利用可能な時間に制限がある。
	・駅ビル内エレベーターへの１階アプローチ部分は、スロープにより段差が解消されている。
	・東口はエレベーターの整備により段差解消が解消されている。
	ラチ外経路の車椅子対応 ・西口はロータリーに面しており、車椅子のすれ違いが可能である（放置自転車の撤去が必要）
	・東口はバス停のある歩道に面しており、車椅子のすれ違いが可能である。

③ 特定経路（候補）の整備状況

経　路　名	主に改良すべきポイント
五香駅西口～常盤平記念病院	• 特定経路（候補）総延長に対する有効幅員に満たない道路延長の割合が約１６％である。 • 案内板は不十分でわかりにくい。 • 誘導用ブロックも不十分である。 • 音響システムは一部あるが未だ不十分である。
五香駅西口～ふれあい２２	



④ 五香地区の整備状況を踏まえた取り組み

五香地区は、すでに東西口両方に昇降設備が整備されており、今後は、ラチ内のエレベーター設置を検討していく必要がある。

なお、駅及び駅から高齢者や身体障害者等の利用する主な施設までの経路のバリアフリー化については、引続き整備推進地区として検討を行う。

経　路　名	主　な　検　討　方　針
五香駅西口～常盤平記念病院	• 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置 • 案内板の設置　・・等
五香駅西口～ふれあい２２	• 駅前の歩道が無い場所が一部にあり、安全対策等が必要である。 • 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置 • 案内板の設置　・・等

5）　常盤平地区周辺について

① 鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
新京成電鉄常盤平駅 （ホーム数１）	改札まで昇降施設エレベーターあり（段差なし） 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（多機能トイレあり） 誘導用ブロックあり 点字券売機２台 自由通路連続

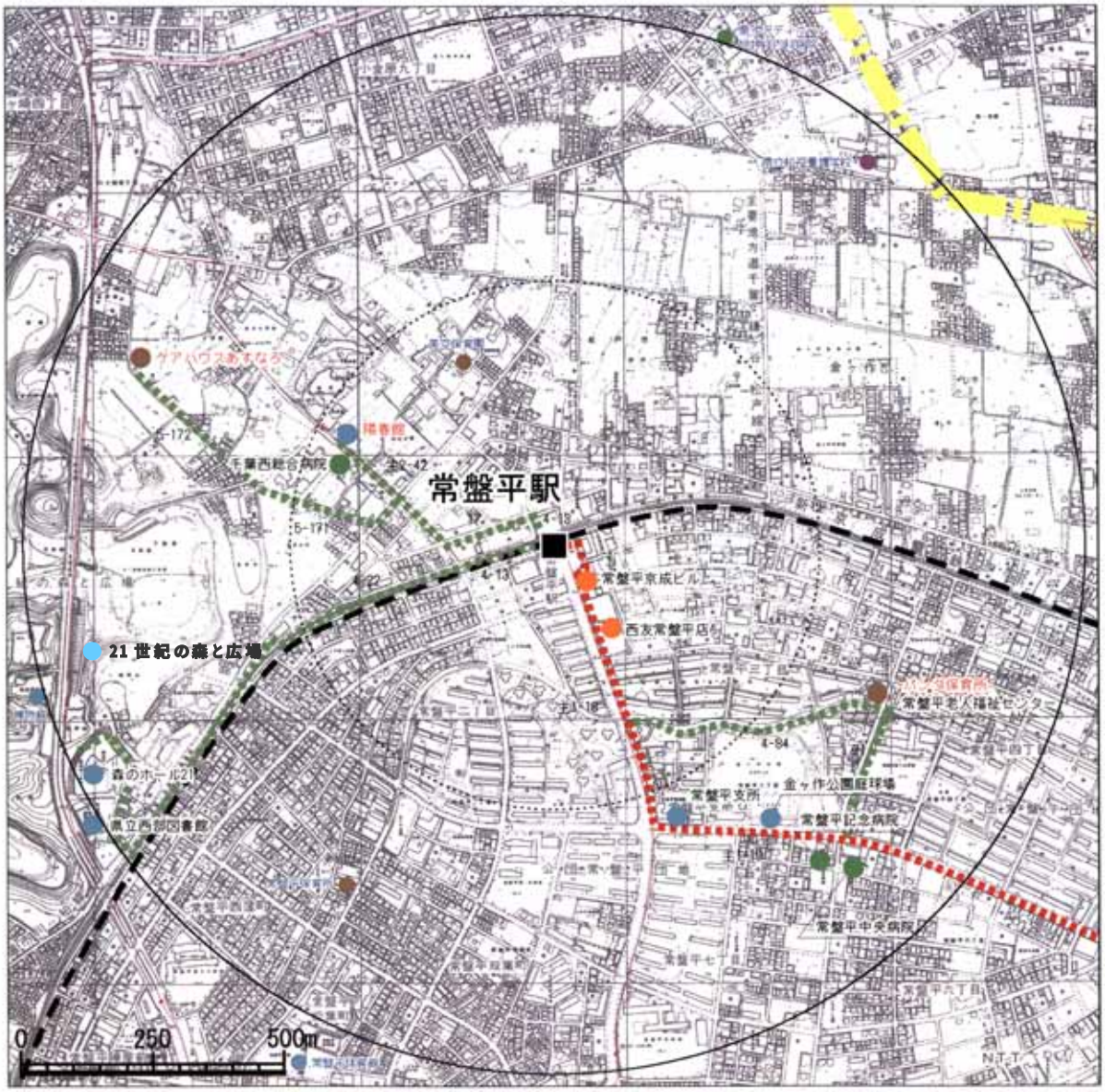
② 鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：常盤平地区（駅舎内）	
	改札～自由通路段差解消 ・常盤平駅改札前は自由通路との間に段差はなく、拡幅改札口もある。
	・自由通路内は特に段差はない。但し、手摺りについては未整備な箇所がある。
	・改札からホームまではエレベーターにより段差が解消されている。

ラチ内外の移動円滑化の現況：常盤平地区	
 	ラチ外経路の段差解消 ・北口はエレベーターにより段差が解消されている。 ・ロータリーに面する南口にはエスカレーターが設置されている。
 	ラチ外経路の車椅子対応 ・北口はバス停のある歩道に面しており、車椅子のすれ違いが可能である。 ・南口はロータリーに面しており、車椅子のすれ違いが可能である。（ただし、放置自転車の撤去が必要）

③　特定経路（候補）の整備状況

経　路　名	主に改良すべきポイント
常盤平駅北口～ケアハウスあすなろ	• 駅前の一部を除き、準特定経路であり歩道の確保が望まれる。 • 案内板は不十分でわかりにくい。 • 音響システムは一部あるが未だ不十分である。
常盤平駅北口～森のホール２１	
常盤平駅南口～常盤平記念病院	• 歩道の巻き込みの改修必要箇所が約５０％である。 • 案内板は不十分でわかりにくい • 音響システムは一部あるが未だ不十分である。



④　常盤平地区の整備状況を踏まえた取り組み

常盤平地区は、自由通路があり、北口についてはエレベーターによる段差解消が図られている。また、南口にはエスカレーターが設置されている。

なお、駅及び駅から高齢者や身体障害者等の利用する主な施設までの経路のバリアフリー化については、引続き整備推進地区として検討を行う。

経　路　名	主　な　検　討　方　針
常盤平駅北口～ケアハウスあすなろ	• 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置 • 道路排水施設の改修と併せた歩道幅員の確保　・・等
常盤平駅北口～森のホール２１	
常盤平駅南口～常盤平記念病院	• 駅前の歩道が無い場所が一部にあり、安全対策等が必要である。 • 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置　・・等

7.2.3 六実・元山地区周辺の現況及び整備状況について

(1) 地区の現況

1） 地区の概要

新京成電鉄の駅を中心に市街地が広がる２つの地区であり、両駅とも乗降客数が多い駅であるが本構想の対象となる特定施設が少ない等の状況により現時点では整備検討地区と位置づける。

2） 駅の利用状況

各駅の利用実態は、次の通りである。

地区名	含まれる鉄道駅	乗降客数（人／日）	高齢者利用者数（人／日）	バス運行路線数
六実	東武鉄道六実駅	16,436	2,317	０路線
元山	新京成電鉄元山駅	18,231	2,571	０路線

3） 六実地区周辺について

① 鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
東武鉄道六実駅 （ホーム数２）	改札までに階段あり 階段手摺り１段タイプあり トイレあり 誘導用ブロックあり 点字券売機１台

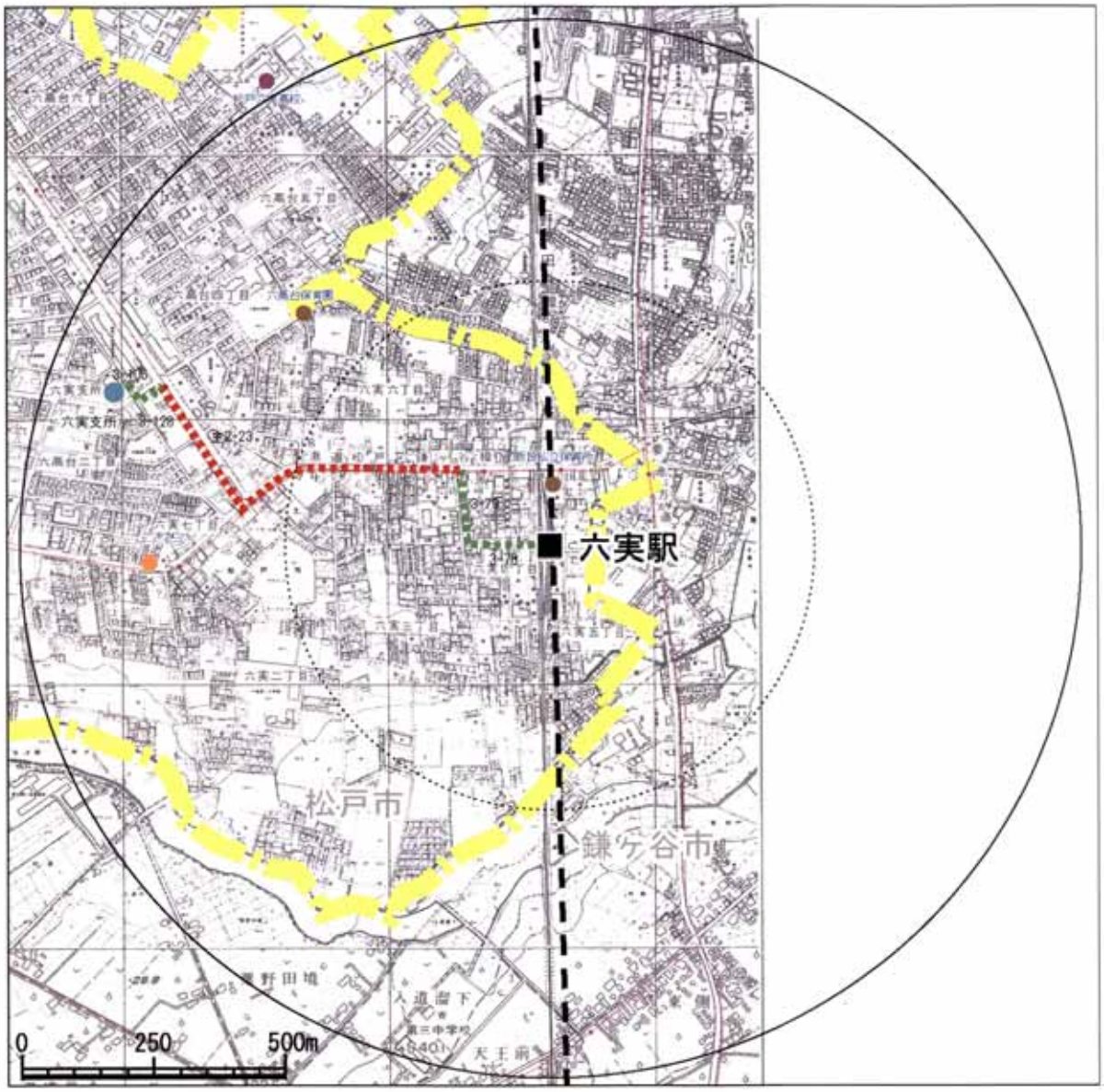
② 鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：六実地区（駅舎内）	
	改札～自由通路段差解消 ・六実駅改札前は階段であるが、スロープ等による段差の解消が図られている。
	・拡幅改札口はある。

ラチ内外の移動円滑化の現況：六実地区	
	ラチ外経路の段差解消 ・改札はグラウンドレベルであり、段差はない。
	ラチ外経路の車椅子対応 ・ロータリーに面しており、車椅子のすれ違いは可能である。

③　特定経路（候補）の整備状況

経　路　名	主に改良すべきポイント
六実駅西口～六実支所	・特定経路ならびに準特定経路（候補）総延長に対する有効幅員に満たない道路延長の割合が約４１％である。 ・誘導用ブロックがない。 ・歩道の巻き込みの改修必要箇所が約４０％である。 ・案内板が不十分でわかりにくい ・音響システムは一部あるが未だ不十分である。



④　六実地区の整備状況を踏まえた取り組み

六実地区は、鎌ヶ谷市と隣接する地区である。特定施設が少ないことから、市民の意見をもとに国ならびに千葉県の交通バリアフリー関連施策の展開や、関係する鎌ヶ谷市の交通バリアフリー関連の取り組み状況等と調整を図りながら検討を行う。

駅及び駅から高齢者や身体障害者等の利用する主な施設までの経路のバリアフリー化については、引続き整備検討地区として検討を行う。

経路名	主な検討方針
六実駅西口～六実支所	• 駅前に歩道が無い場所が一部にあり、安全対策等が必要である。 • 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置　・・等

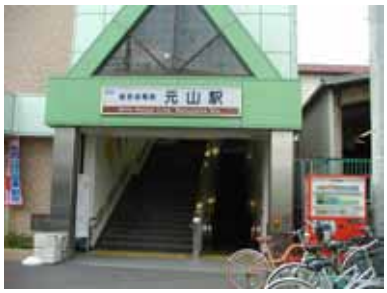
4)　元山地区周辺について

①　鉄道駅の整備状況

駅名	改札内整備状況
新京成電鉄元山駅 （ホーム数２）	改札まで昇降施設エレベーターあり（段差なし） 階段手摺り１段タイプあり 多機能トイレあり 誘導用ブロックあり 点字券売機２台 自由通路連続

②　鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：元山地区（駅舎内）	
	改札～出口段差解消 ・改札前は段差なし。 ・改札は拡幅改札になっている。

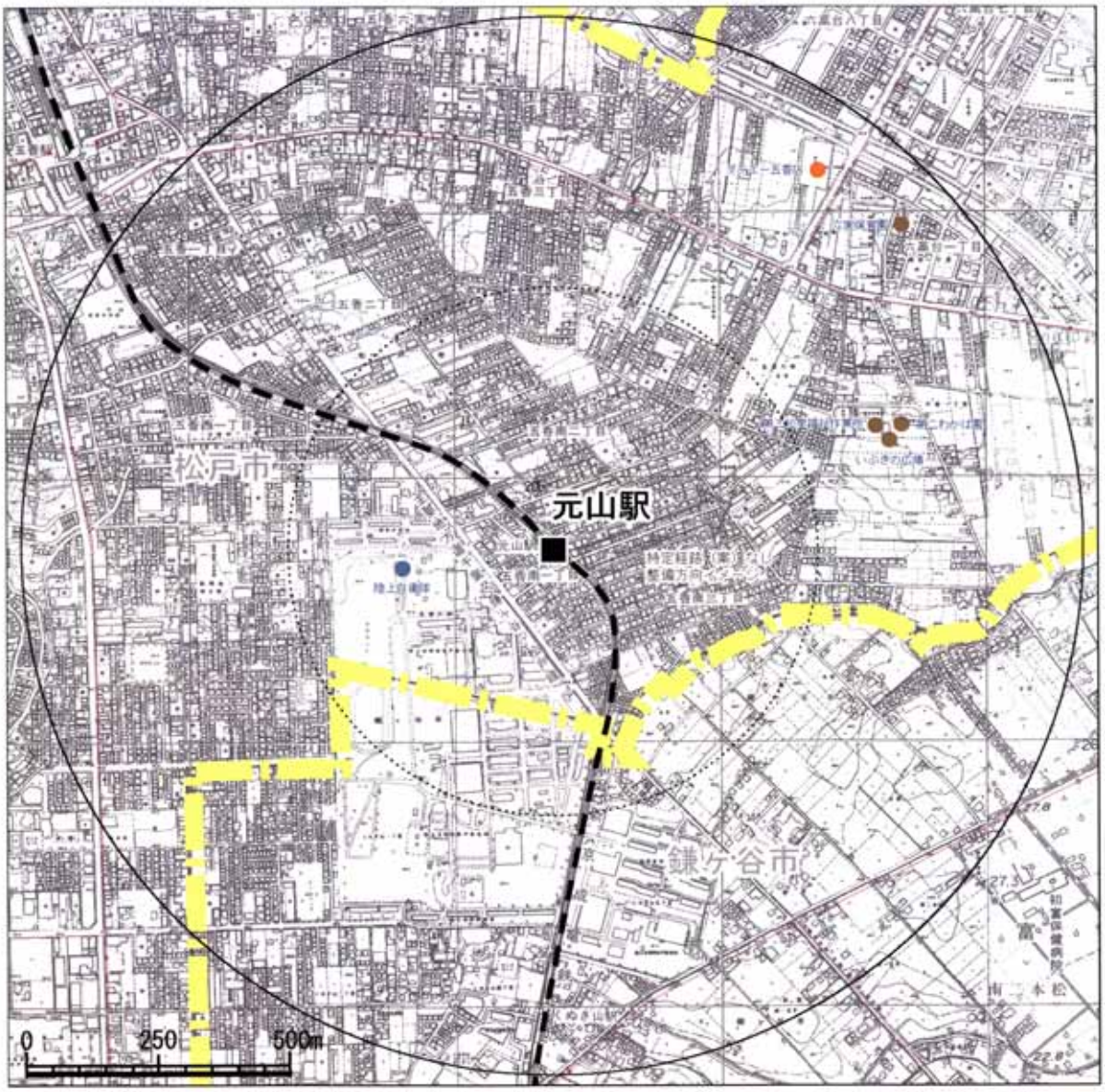
ラチ内外の移動円滑化の現況：元山地区	
 	ラチ外経路の段差解消 ・東口は階段のみの整備となっている。 ・西口には車椅子対応型のエスカレーターが整備され段差は解消されている。
  	ラチ外経路の車椅子対応 ・東口は車椅子のすれ違いが可能な道路に面しているが、車止めにより車椅子の利用は困難である。 ・西口はロータリーに面しており、車椅子のすれ違いが可能である。

③　特定経路（候補）の整備状況

特定経路（候補）は、設定していない。

④　元山地区の整備状況を踏まえた取り組み

元山地区は、鎌ヶ谷市と隣接する地区である。特定施設が少ないことから特定経路（候補）は設定せず、市民の意見をもとに国ならびに千葉県の交通バリアフリー関連施策の展開や、関係する鎌ヶ谷市の交通バリアフリー関連の取り組み状況等と調整を図りながら、整備検討地区として検討を行う。



7.2.4 上本郷・みのり台・松戸新田地区周辺の現況及び整備状況について

(1) 地区の現況

1） 地区の概要

新京成電鉄の駅を中心に市街地が広がる３つの地区であり、各駅とも乗降客数が 5,000 人を上回るものの交通結節点にバス等への乗換え路線がないため、現時点では整備検討地区と位置づける。

2） 駅の利用状況

各駅の利用実態は、次の通りである。

地区名	含まれる鉄道駅	乗降客数（人／日）	高齢者利用者数（人／日）	バス運行路線数
上本郷	新京成電鉄上本郷駅	7,120	2,317	０路線
みのり台	新京成電鉄みのり台	7,890	2,571	０路線
松戸新田	新京成電鉄松戸新田駅	5,246	2,317	０路線

3） 上本郷地区周辺について

① 鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
新京成電鉄上本郷駅 （ホーム数１）	改札までに階段あり 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（段差あり） 誘導用ブロックあり 点字券売機１台

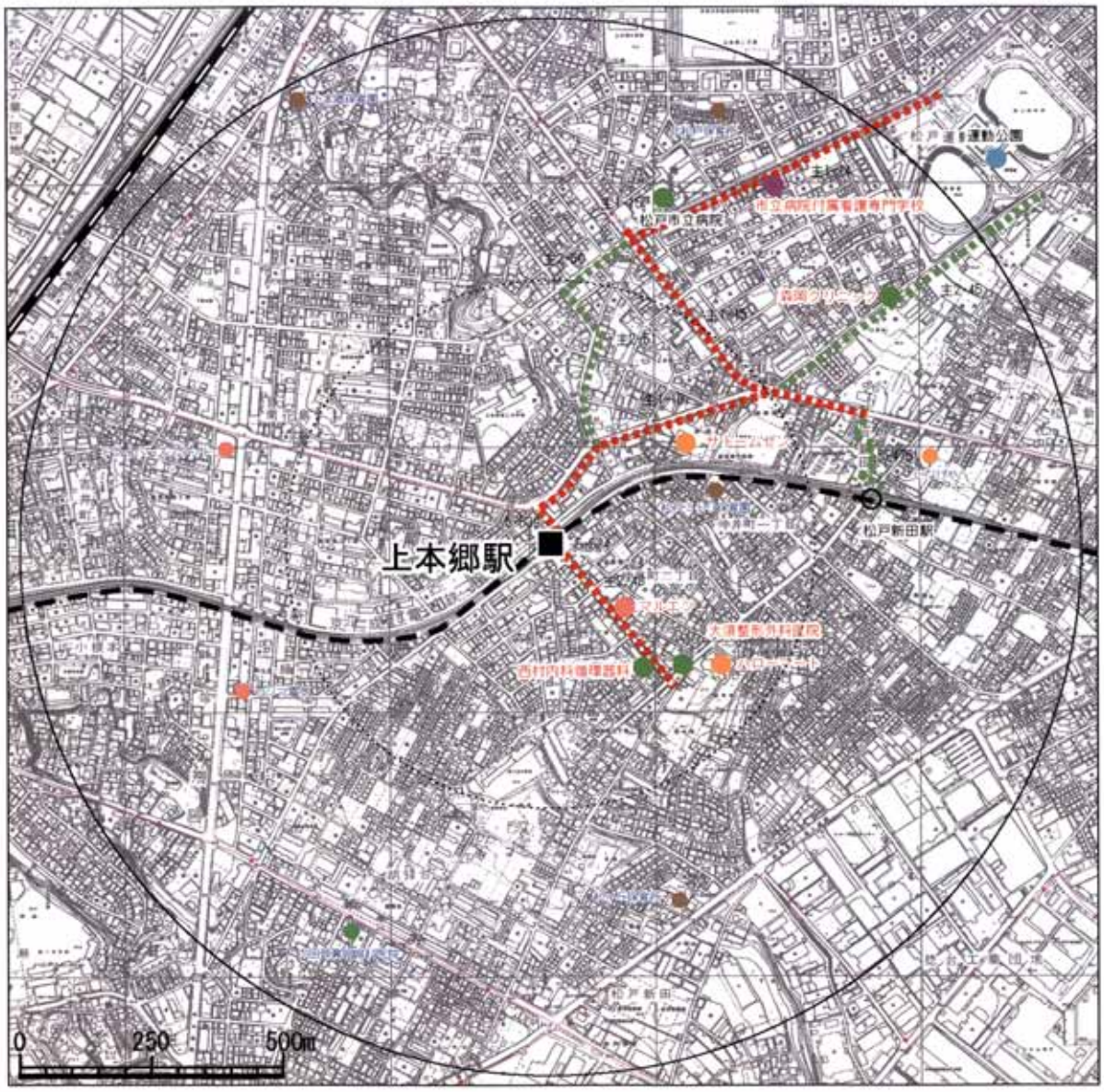
② 鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：上本郷地区（駅舎内）	
	改札～自由通路段差解消 ・上本郷駅改札前は段差解消済み。
	・拡幅改札口はある。

ラチ内外の移動円滑化の現況：上本郷地区	
	ラチ外経路の段差解消 ・南口はエスカレータが整備されており、段差は解消されている。
	・北口は階段のみである。南口への迂回が容易であるが踏み切りを横断する必要がある。北口にもエレベーター等の整備が望ましい。
	ラチ外経路の車椅子対応 ・南口はロータリーに面していることから、車椅子のすれ違いは可能である（放置自転車が多いので撤去が必要）。
	・北口は歩道幅員が狭小で、車止めが整備されており、車椅子利用は困難である。

③　特定経路（候補）の整備状況

経　路　名	主に改良すべきポイント
上本郷駅南口～大洲整形外科病院	・特定経路（候補）ならびに準特定経路（候補）総延長に対する有効幅員に満たない道路延長の割合が約３５％である。
上本郷駅北口～運動公園	・誘導用ブロックがない。 ・歩道の巻き込みの改修必要箇所が約35%である。 ・案内板が不十分でわかりにくい ・音響システムは一部あるが未だ不十分である。



④　上本郷地区の整備状況を踏まえた取り組み

上本郷地区は、近接して北松戸地区、松戸新田地区等と特定施設が共存する地区である。市民の意見をもとに国ならびに千葉県の交通バリアフリー関連施策の展開等と調整を図りながら、整備検討地区として検討を行う。

経　路　名	主　な　検　討　方　針
上本郷駅南口～大洲整形外科病院	• 駅前に歩道が無い場所が一部にあり、安全対策等が必要である。 • 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置　・・等

4)　みのり台地区周辺について

①　鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
新京成電鉄みのり台駅 （ホーム数２）	改札まで階段あり 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（出入り口段差あり） 誘導用ブロックあり 点字券売機２台

②　鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：みのり台地区（駅舎内）	
 	改札～出口段差解消 ・改札前は段差なし。 ・改札は拡幅改札になっている。 ・改札手前に段差あり、スロープ等による段差解消あり。

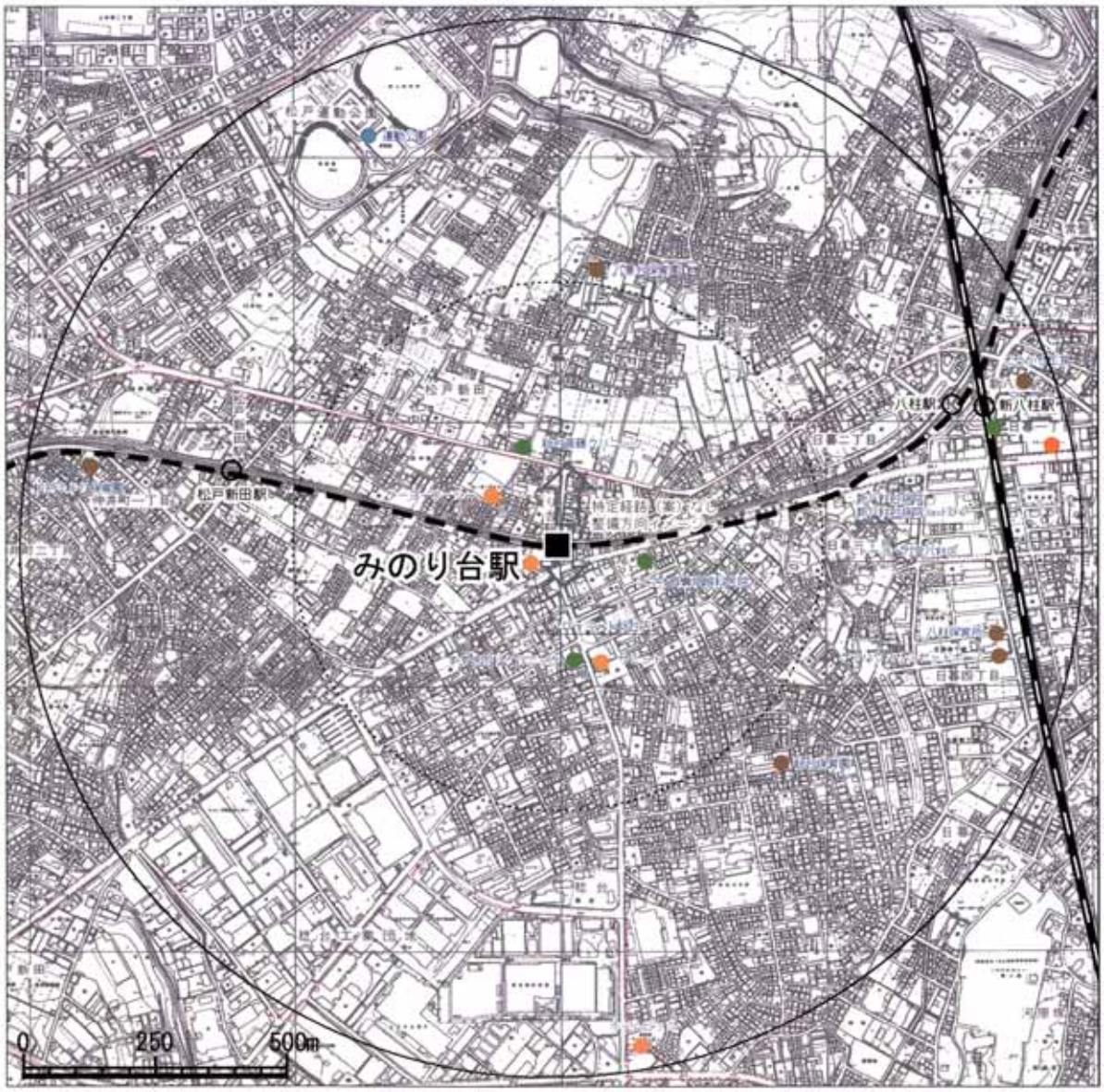
ラチ内外の移動円滑化の現況：みのり台地区	
	ラチ外経路の段差解消 ・改札がグラウンドレベルであることから、段差は生じていない。
	ラチ外経路の車椅子対応 ・改札の面している歩道は幅員が狭く、車椅子でのすれ違いは困難である。また、踏切が隣接していることから遮断機が下りている状態で人が滞留すると移動が困難である。

③　特定経路（候補）の整備状況

特定経路（候補）は、設定していない。

④　みのり台地区の整備状況を踏まえた取り組み

みのり台地区は、近接して北松戸地区、松戸新田地区、新八柱・八柱地区等と特定施設が共存する地区である。現状では他の交通結節点から特定施設へ移動していることから特定経路（候補）は設定せず、市民の意見をもとに国ならびに千葉県の交通バリアフリー関連施策の展開等と調整を図りながら、整備検討地区として検討を行う。



5)　松戸新田地区周辺について

①　鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
新京成電鉄松戸新田駅 （ホーム数２）	改札まで階段あり 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（出入り口段差あり） 誘導用ブロックあり 点字券売機１台

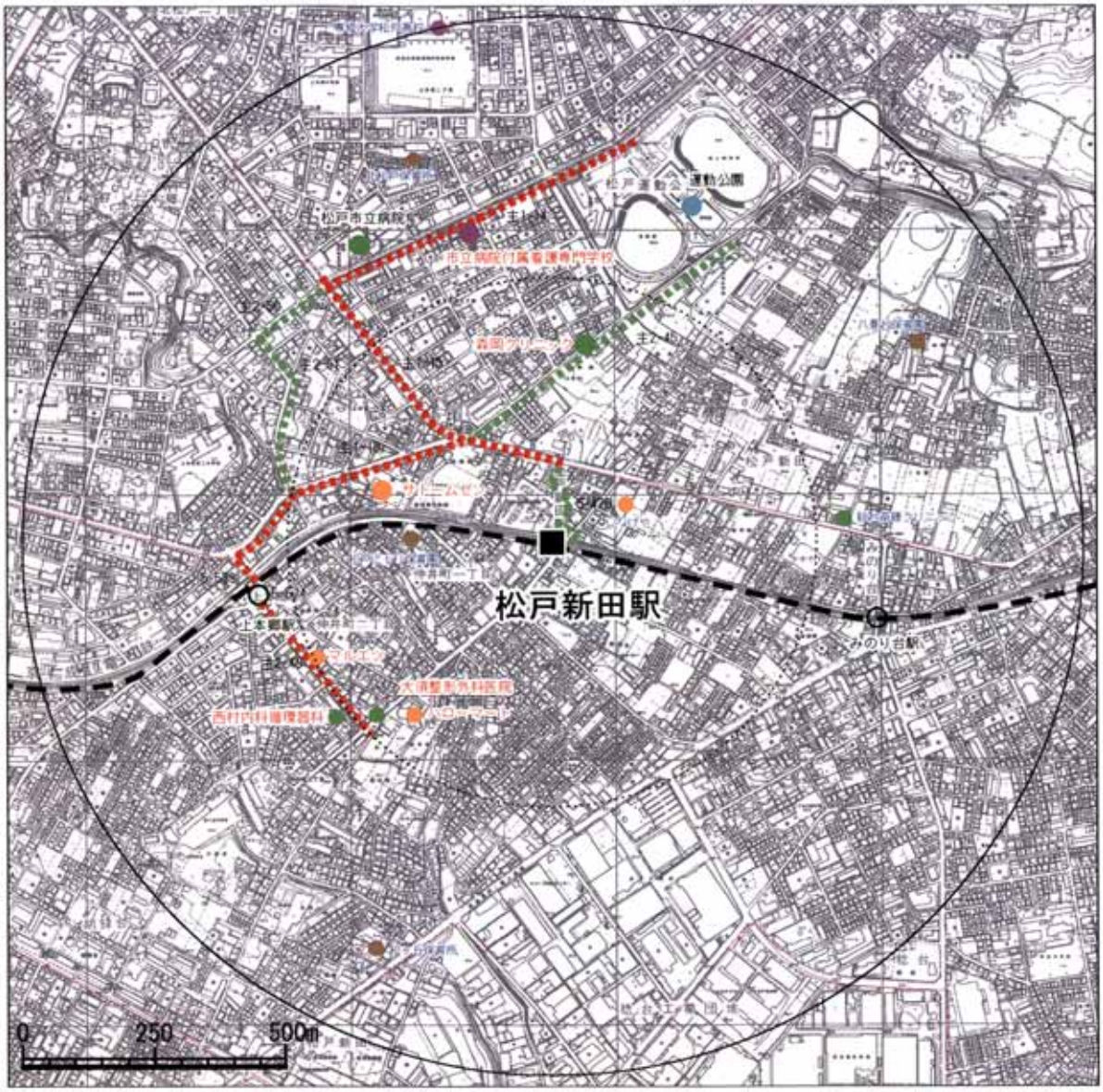
②　鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：松戸新田地区（駅舎内）	
	改札～自由通路段差解消 ・松戸新田駅改札前は階段がありスロープ等により段差解消が図られている。
	・拡幅改札口はある。

ラチ内外の移動円滑化の現況：松戸新田地区	
	ラチ外経路の段差解消 ・改札は地盤と同じ高さであるため、経路までの段差はない。
	ラチ外経路の車椅子対応 ・改札の面している歩道は幅員が狭く、すれ違いの際に一旦、車道を利用することになる。

③　特定経路（候補）の整備状況

経　路　名	主に改良すべきポイント
松戸新田駅北口～運動公園	・特定経路ならびに準特定経路（候補）総延長に対する有効幅員に満たない道路延長の割合が約４２％である。 ・誘導用ブロックがない。 ・歩道の巻き込みの改修必要箇所が約４４％である。 ・案内板が不十分でわかりにくい ・音響システムは一部あるが未だ不十分である。



④　松戸新田地区の整備状況を踏まえた取り組み

松戸新田地区は、近接して北松戸地区、上本郷地区、みのり台地区等と特定施設が共存する地区である。市民の意見をもとに国ならびに千葉県の交通バリアフリー関連施策の展開等と調整を図りながら、整備検討地区として検討を行う。

経　路　名	主　な　検　討　方　針
松戸新田駅北口～運動公園	• 駅前に歩道が無い場所が一部にあり、安全対策等が必要である。 • 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置　・・等

7.2.5 東松戸・矢切地区周辺の現況及び整備状況について

(1) 地区の現況

1） 地区の概要

ＪＲ武蔵野線、北総鉄道の駅を中心に公共交通網（鉄道からバスへの乗換え等）が展開している２つの地区であり、どの駅も乗降客数が比較的多い駅である。

松戸市都市計画マスタープランにおいて、現時点では人口密度が３５人／ha と小さいが、今後の市街地発展が期待されるゾーンと位置づけられている。

2） 駅の利用状況

各駅の利用実態は、次の通りである。

地区名	含まれる鉄道駅	乗降客数（人／日）	高齢者利用者数（人／日）	バス運行路線数
東松戸	ＪＲ武蔵野線、北総鉄道東松戸駅	29,284	4,158	６路線
矢切	北総鉄道矢切駅	6,340	1,192	２路線

3） 東松戸地区周辺について

① 鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
ＪＲ東松戸駅 （ホーム数２）	改札まで昇降施設エレベーター、エスカレーターあり（段差なし） 階段手摺り２段タイプあり トイレあり（多機能トイレあり） 誘導用ブロックあり 点字券売機２台
北総鉄道東松戸駅 （ホーム数１）	改札まで昇降施設エスカレーターあり（段差なし） 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（段差あり） 誘導用ブロックあり 点字券売機２台 自由通路連続

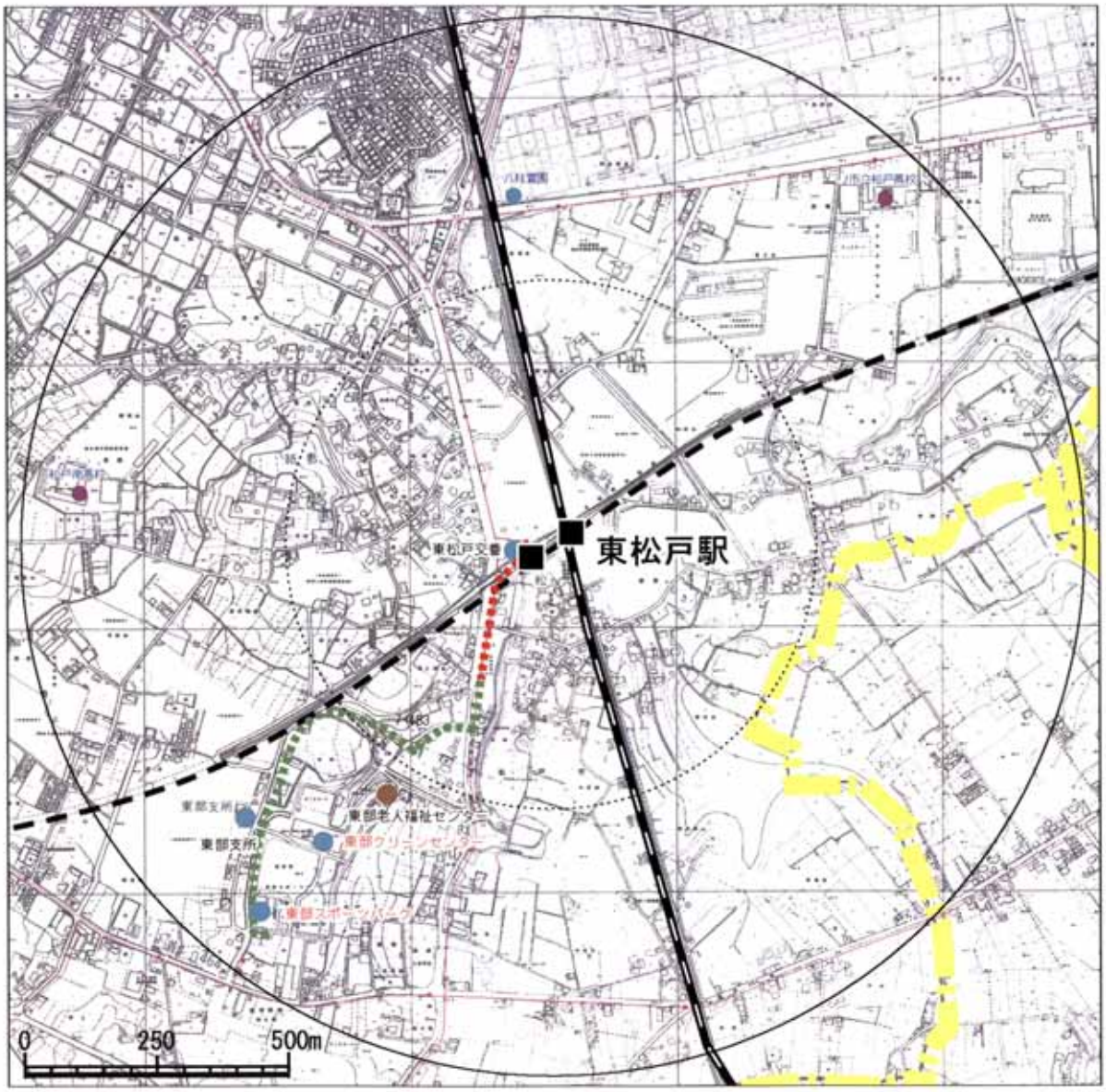
② 鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：東松戸地区（駅舎内）	
 	改札～出口段差解消（JR 東松戸駅） ・改札前は階段なし。 ・改札は拡幅改札になっている。 ・ホームから自由通路までエレベーターが位置されている。
 	改札～自由通路までの段差解消（北総鉄道東松戸駅） ・エスカレーターが整備されている。 ・改札は拡幅改札になっている。

ラチ内外の移動円滑化の現況：東松戸地区	
	ラチ外経路の段差解消 ・JR 東松戸駅は改札から経路まで段差なし。 ・北総線はエスカレーターが整備されており段差は解消されている。将来的には下りエスカレーターの整備が必要である。
	ラチ外経路の車椅子対応 ・経路はバスロータリーに面しており、車椅子のすれ違いが可能となっている。

③　特定経路（候補）の整備状況

経　路　名	主に改良すべきポイント
東松戸駅～東部スポーツパーク	・特定経路ならびに準特定経路（候補）総延長に対する有効幅員に満たない道路延長の割合が約８２％である。 ・誘導用ブロックも不十分である。 ・音響システムは一部あるが未だ不十分である。



④　東松戸地区の整備状況を踏まえた取組み

東松戸地区は、松戸市内では最も新しい駅である。開業開始時から両駅ともバリアフリーに配慮した整備が行われている。

なお、駅及び駅から高齢者や身体障害者等の利用する主な施設までの経路のバリアフリー化については、引続き整備推進地区として検討を行う。

経　路　名	主　な　検　討　方　針
東松戸駅～東部スポーツパーク	・経路上の交差点における誘導用ブロックの設置 ・道路排水施設の改修と併せた歩道幅員の確保 ・歩道が無い場所が一部にあり、安全対策等が必要である。　・・等

4)　矢切地区周辺について

①　鉄道駅の整備状況

駅　　名	改　札　内　整　備　状　況
北総鉄道矢切駅 （ホーム数２）	改札まで昇降施設エスカレーターあり（段差なし） 階段手摺り１段タイプあり トイレあり（段差あり） 誘導用ブロックあり 点字券売機２台 自由通路連続

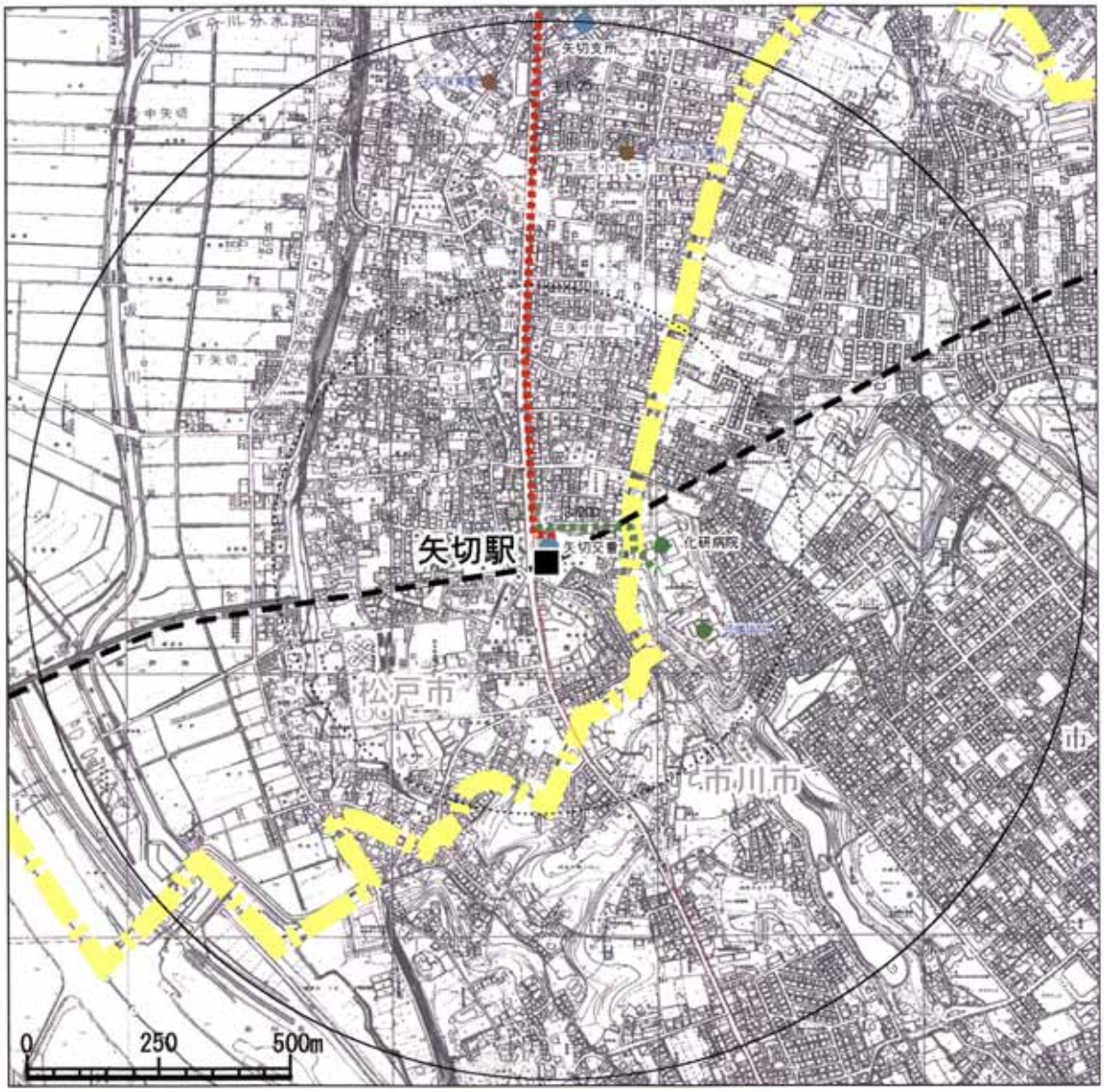
②　鉄道駅内外（改札から駅前広場等）までの整備状況

ラチ内外の移動円滑化の現況：矢切地区（駅舎内）	
	改札～自由通路段差解消 ・矢切駅改札前は段差解消済み。
	・拡幅改札口はある。

ラチ内外の移動円滑化の現況：矢切地区	
 	ラチ外経路の段差解消 ・エスカレーターが整備されており、段差は解消されている。昇りのみであることから、将来的にはエレベーターの整備が必要である。 ・出入り口に僅かに段差がある。
	ラチ外経路の車椅子対応 ・出入り口はバスロータリーに面しており、車椅子のすれ違いが可能である。

③　特定経路（候補）の整備状況

経　路　名	主に改良すべきポイント
矢切駅～矢切支所	・特定経路（候補）ならびに準特定経路（候補）総延長に対する有効幅員に満たない道路延長の割合が約２０％である。 ・誘導用ブロックがない。 ・歩道の巻き込みの改修必要箇所が約３５％である。 ・案内板が不十分でわかりにくい ・音響システムは一部あるが未だ不十分である。



④　矢切地区の整備状況を踏まえた取組み

矢切地区は、市川市と隣接する地区である。特定施設が少ないことから、市民の意見をもとに国ならびに千葉県の交通バリアフリー関連施策の展開や、関係する市川市の交通バリアフリー関連の取組み状況等と調整を図りながら検討を行う。

駅及び駅から高齢者や身体障害者等の利用する主な施設までの経路のバリアフリー化については、引続き整備検討地区として検討を行う。

経　路　名	主　な　検　討　方　針
矢切駅～矢切支所	• 駅前に歩道が無い場所が一部にあり、安全対策等が必要である。 • 経路上の交差点における誘導用ブロックの設置　・・等